

## 秋の防災特集

# 防災センターに行ってきましたきました～！！

私たち名工大生が、十分夏を満喫していた（？）夏休みのちょうど真ん中の日、9月1日は防災の日でした。各地で避難訓練のサイレンがなっていたのに、気づかなかった人もたくさんいるのではないのでしょうか？！大学生となり、高校や中学でほぼ強制にでも行われていた避難訓練をやらなくなった今、目先に近づいているといわれている東海大地震に備えて、何を準備すればよいかもう一度見直してみてもいいでしょうか。すべてを見直せる場所…、そうです防災センター！！



防災センターでの記念写真

というわけで

『名古屋市港区の防災センターに行ってきましたきました～！！』

## ① サバイバル実習を体験しました

サバイバル実習と聞くと、外に出て、木を切つて……、とそんなものを思い浮かべるかもしれませんが、ぜんぜんそのようなものではありません。この実習は、「災害時にコンロがなく料理をすることができない。」という時のために、アルミ缶・アルミホイル・ティッシュペーパーの3点セットで即席のコンロが作れるというものです。これを使えば、ご飯を炊くことや、目玉焼き、クレープ、焼肉など、いろいろな料理をすることができます。今回の実習ではこれを使ってご飯を炊きました。ご飯は約50分ほどで炊くことができ、中まで完全に火がとおったご飯を食べることができました。



\*注意：防災センターでのサバイバル実習には申し込みが必要です。

後のページに作り方が載っているのでぜひ作ってみよう！！

## ② 震度7の地震を体験しました

起震装置で過去の大地震再現などを体験しながら、適切な初期行動の困難さを体験的に学習できます。震度7程度の地震が起こっているときは、床や机の脚にしがみついていると、体が左右に振れ、身動きが取れません。この写真の机は床に固定されていたのですが、もしされていなかったとすると、机ごと振り回されそうでした。自分の家の机がしっかりと固定されているか、もしされてないなら、しっかりと固定されるような対策をとるようにしましょう。また、避難するときどこに行けばよいか、自分の家の周りの災害時避難場所をもう一度確認してみましょう。ちなみに、名古屋市の場合は、市の公共施設です。



地震体験中の写真

### 地震が起きたときの注意

1. 安全なところで動かない  
(テーブルの下に避難)
2. 揺れがおさまったらガスの元栓を閉める
3. ドアを開ける
4. 電気のブレーカーを切る
5. すぐに避難する

## ③ まとめ

防災センターでは、これらの2つの体験のほかに、煙非難体験、三角巾での応急手当、ロープ結索なども行うことができます。これらの体験を通して、災害が起きたときに行動すればよいか、再復習することができます。今の世の中、災害と聞けばどうしても東海大地震が思いだされますが、地震に限らず災害は日頃からの準備が大切です。皆さんも行ってみたいかどうか？



防災センターのマスコットなまずの震ちゃん

### 防災センターへのアクセス

名古屋市港防災センター

〒455-0018

名古屋市港区港明1-12-20

電話 (052) 651-1100

FAX (052) 651-6220

HP [http://www.nagoya-dpmc.jp/](http://www.nagoya-dpmc.jp/bousai/index.html)

[bousai/index.html](http://www.nagoya-dpmc.jp/bousai/index.html)

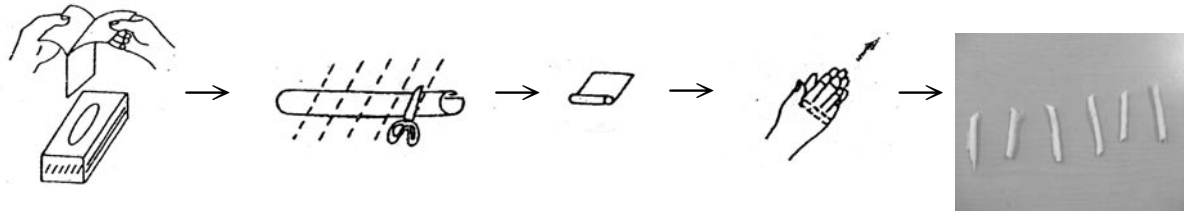
# 非常用コンロの作り方

(1セット分)

## 材料

アルミホイル 25cm × 17cm を 3枚  
ティッシュペーパー 3枚  
アルミ缶 3個

### ① 灯芯の作り方

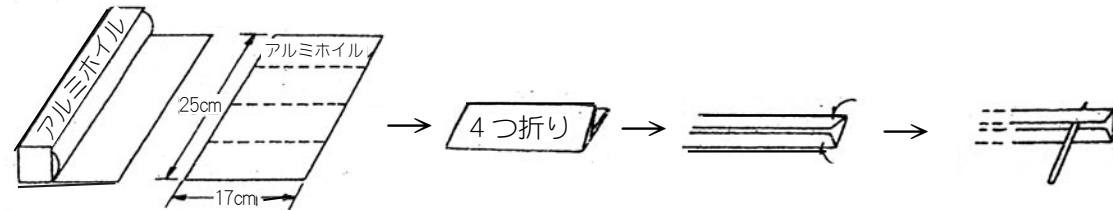


ティッシュを2枚 4つ折にして1/6の  
にはがします 長さに切る

さらに手の平で転  
軽く丸める がすように丸める

完成

### ② 芯たての作り方



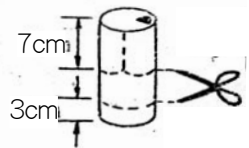
アルミホイルを 25cm × 17cm に  
切ります

アルミホイルを 4  
つ折りにします

中央に向かって両  
サイドから折り込  
みます

折り込んだ片側に鉛  
筆で6つ図のように  
穴を開けます

### ③ コンロと鍋台の作り方



340ml のアルミ缶を上か  
ら 7cm 下から 3cm のと  
ころを切ります



鉛筆で開けた穴に①で  
作った芯を差し込みます



完成

# 今からできる地震対策

## ～非常時の持ち物を準備しよう～

いざ防災グッズを買おうと思っても、「何をどれくらい買えばいいかわからな〜い。」「防災グッズって結構高いんじゃ…。」と思う人も多いのではないのでしょうか。ここではそんな悩みに答えて、災害時に必要なものを紹介していきましょう。

## 100円均一だけでそろえてみました～ 食料品

食べ物の量は、災害復旧までの数日間（最低3日）分は用意しましょう。用意するものは、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものを用意しましょう。カップ麺などは、非常食に適していると思われがちですが、使用したあとの水が再利用することができないので、非常食にあまり適してはいません。また、飲料水は1人1日3リットルを目安として、用意しましょう。



一日分の食料

## そのほかの備品

左の写真を見てください。懐中電灯・軍手・ロープ・タオル・携帯用トイレ・レジャーシート・絆創膏・生活用水用のポリタンク、そして非常用持ち出し袋です。これらのすべてを、100均で買うことができます。なので、ひと通りの防災グッズだけなら、1000円以内でそろえてしまうことができるのです。このほかに、貴重品（現金・身分証明書の写しなど）、携帯ラジオ、雨具、ライター、ウェットティッシュなどがあると便利です。しかし、必要なものを入れすぎていざ



防災グッズの例

というときに運べなくては意味がないので、体力に合わせて準備をするようにしましょう。大体の目安として、男性 15kg 女性 10kg にすると良いでしょう

## 最後に

非常用持ち出し袋は、玄関やガレージ、車の中など比較的安全ですぐに持ち出せるところにおいておきましょう!!